



宗四小だより

8・9月号

志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数589名 令和4年8月29日発行



目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』

「 学ぶ姿勢 と 内発的動機づけ 」

校長 高柳 政行

幼稚園児を対象にしたお絵描きの実験があります。絵を描くことが好きな園児を以下3つのグループに分け、しばらくたった後に、お絵描きがどのくらい行われているかを測定した実験です。

Aグループ：絵を描いたら報酬（賞状）がもらえることを、あらかじめ子ども達に知らせ、実際に報酬（賞状）をもらったグループ

Bグループ：絵を描く前に報酬（賞状）がもらえることを知らせていなかったが、絵を描いた後に報酬（賞状）を渡してもらったグループ

Cグループ：絵を描く前に報酬（賞状）があるとも伝えず、実際に絵を描いても何ももらえなかったグループ

さて、この実験の結果はどうなったと思いますか？



結果はAのグループの園児だけに意欲の低下が見られ、BとCのグループの園児たちには意欲の低下は見られなかったというのです。端的に言えば、自分の興味に従ってただ楽しく絵を描いていた子ども達はずっと絵を描いていたのに、大人からご褒美をあげると言われた子ども達は、ご褒美がなくなると絵を描かなくなってしまったということです。

このことは何を意味しているのでしょうか？



子ども達のことを思い浮かべてみましょう。子ども達が興味や関心を持っていることをしようとしている時には、ご褒美がなくても、自然とそれを始めたり、モチベーションが上がっていったりするということ、よくあることではないでしょうか。それが、例えば、興味や関心をもった学校の勉強や宿題だとすれば、その課題をこなせばこなすほど、脳の中で喜びを感じるようになり、勉強すること自体が喜びになっていくことでしょう。いわゆる内発的動機付けの効果です。

ところが、外からご褒美・報酬（または罰）などの外発的動機を与えることによって、内発的動機が低下してしまうことがあります。つまり、内側から湧いてくるモチベーションが減ってしまう可能性が高まるということです（このような心理現象を「アンダーマイニング効果」といいます）。

やはり、勉強でも仕事でも同じだとは思いますが、自分から興味・関心を持つ状況にすることが大切になってきます。



さあ、今日から長い2学期の始まりです。まずは、私たち教師も保護者の皆様も、学びの主人公は子ども達であることを確認しましょう。そして、子ども達自身が自分事として主体的に学ぶ姿勢や内発的動機付けを意識（学ばせるという受け身や外発的動機付けを強めすぎないように注意）できるような手立てやその工夫にこそ力を入れ、実り多い収穫の秋を迎えたいものです。

そのために時間と労力を、これまで以上に内発的動機付けを高めるような教育に向けていきましょう。